

功 績 概 要 書

1 受賞候補者

住 所 山形市

氏 名 吉田 眞一郎

年 齢 77 歳

現 職 株式会社吉田段ボール代表取締役会長
山形商工会議所常議員、工業ものづくり部会部会長
山形市中小企業連盟顧問
協同組合山形給食センター理事

2 受賞理由

業歴 60 年を超える県内トップクラスの段ボールケースメーカーである株式会社吉田段ボールの代表者として、長年にわたり大手食品関連企業と取引を行うなど、強固な事業基盤を築きながら、地域経済の活性化に貢献している。

代表理事を務めていた協同組合山形給食センターでは、「山形の人に、山形のおいしさを“地産地給”する」をコンセプトに、地産地消の実現に寄与し、地域経済の好循環を支える取組みを行っている。

山形商工会議所の常議員をはじめ多くの団体の役員を歴任し、地域経済のけん引役として手腕を發揮している。

3 具体的功績

- (1) 業歴60年を超える県内トップクラスの段ボールケースメーカーである株式会社吉田段ボールの代表者として、農作物の梱包材を中心に、食品関連企業と取引を行うなど、強固な事業基盤を築きながら、地域経済の活性化に貢献している。また、東日本大震災で避難所に保温のため段ボールを無償提供したことに着想を得て、段ボールの新しい可能性の研究開発も行い、2024年には段ボールによるジョイントマットの製造につなげるなど、市場や社会情勢の変化に柔軟に対応し、業界全体の成長にも寄与している。
- (2) 山形商工会議所では、1991年に議員、2013年に常議員に就任し、現在に至るまで同会議所の運営及び地域産業経済の振興発展に尽力してきた。同会議所の部会活動では、2019年より工業ものづくり部会の部会長に就任し、卓越した見識と指導力により厚い信頼を集め、業界の発展に貢献している。
- (3) 1997年に立谷川工業団地協同組合の代表理事に就任して以来、特に環境保全事業に積極的に取り組み、環境保全委員会を組織し、環境整備に注力した。また、同組合では、漏水が問題となっていた水道管本管の入替え工事を実施へ導き、卓越した指導力を發揮しながら問題解決にあたり、地域振興に尽くした。